

# 考えを整理し、学んだことを実感することができる児童の育成

—ICT機能を活用した考えの可視化と「きらきらタイム」を通して—

## 研究のねらい

令和5年度 前橋特別研修研究員  
前橋市立勝山小学校 小平 幸子

考えを整理し、学んだことを実感することができる児童を育成するために、JamboardやオクリンクなどのICTの思考の補助機能の活用による考えの可視化と、振り返りの場面で学んだことを伝え合う活動を設定することの有効性について、授業実践を通して明らかにする。

### 【児童の課題】

- ・考えをもつことができても、言葉や文章で自分の考えを表現することが難しい児童がいる。
- ・多様な意見に触れ、考えを広げることはできても、自分が何を学んだのか明確にならない児童がいる。

### 【指導上の課題】

- ・児童が個々の考えを共有し、多様な意見に触れ、考えを広げる活動を設定しているが、何を学んだのかを整理するための支援が十分ではない。

## 【手立て1】 ICT機能を活用した考えの可視化

学習者用端末で、Google Jamboardやミライシードオクリンクを使用して、考えを整理して、表現します。

思考の補助機能

書き込む

理由や気付きなどを書き込む。

動かす

図形やキーワードなどを分類し、動かす。

並び替える

写真や文章、キーワードなどを順序や規則に従って、並び替える。

何度でも

簡単に



思考の補助機能を使って、試行錯誤しながら考えを整理して、表現する。

## 【手立て2】 学んだことを伝え合う活動「きらきらタイム」

分かったことや大事なことなどを伝え合ったり、学習内容と整合した問題に取り組み、答えや考え方などを伝え合ったりします。

本時のまとめをして、分かったことや気付いたことなどを伝え合う

本時のまとめを可視化したものを使って、大事なことを伝え合う

学習内容と整合した問題に取り組み、答えや考え方などを伝え合う

振り返る



今日の学習で分かったことや大事なことなどを伝え合い、学んだことを整理して、実感する。

### 目指す児童像

考えを整理し、学んだことを実感することができる児童

友達の考えを見たり聞いたりしたから、自分の間違いに気付くことができて、正しいやり方が分かったよ。



友達に伝えることで、今日の勉強がよく分かったよ。



学習場面

追究する・共有する・まとめる

教科	単元(教材)名	学習内容	思考の補助機能	活用したICT	下図の番号
国語	せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう (馬のおもちゃの作り方)	文章のまとまりの工夫を読み取る。【第3時】	動かす	オクリンク	
		文章の順序の工夫を読み取る。【第4時】	並び替える・書き込む	Jamboard	①②
		文章の大事などころや工夫を読み取る。【第5時】	動かす	オクリンク	
		文章の大事などころや工夫をまとめる。【第6時】	動かす	オクリンク	③
算数	三角形と四角形	三角形と四角形の特徴を理解する。【第2時】	動かす・書き込む	オクリンク	
		長方形の特徴を理解する。【第4時】	動かす・書き込む	オクリンク	
		正方形の特徴を理解する。【第5時】	動かす・書き込む	オクリンク	④
生活	ぐんぐんそだてわたしのやさい	ミニトマトの成長についてまとめる。【第10時】	並び替える・書き込む	Jamboard	⑤⑥

追究する・共有する・まとめる

振り返る

【手立て1】 ICT機能を活用した考えの可視化

【手立て2】 「きらきらタイム」  
(下線部が、学んだことを実感している姿)

【第4時】 めあて「馬のおもちゃの作り方」の文の、〈作り方〉のくふうを読みとろう。」

① 並び替える

書き込む

② 並び替える

国語科

並び替えた理由

並び替えた根拠

つぎがついてきたから2回つけて分かった

まずがついてきたから1回にした



学習内容と整合した問題に取り組む



「まず」「つぎに」「それから」「これで」「さいごに」の順番だよな。

「これで」はおもちゃが、完成したときに使うから、「これで」が一番最後だよな。

ほとくの答えは、「これで」と「さいごに」が反対だね。順序を表す言葉を正しく使うのは、分かりやすくする工夫だね。

【第6時】 めあて「おもちゃの作り方を分かりやすくせつ明するためのくふうを話し合おう。」

③ 動かす

国語科

読む人に分かりやすく説明するために、「ぜん体」「ざいりょうとどうぐ」「作り方」「楽しみ方」のどのまとまりで、どのキーワード等を使うとよいかについて考え、動かした。

キーワード

読み方	作り方	ざいりょうとどうぐ	ぜん体
よみか	つく	ざいりょうとどうぐ	ぜんたい
よみか	つく	ざいりょうとどうぐ	ぜんたい

読み方	作り方	ざいりょうとどうぐ	ぜん体
よみか	つく	ざいりょうとどうぐ	ぜんたい
よみか	つく	ざいりょうとどうぐ	ぜんたい



写真は「作り方」で使ったよな。

「ざいりょうとどうぐ」とか「楽しみ方」でも使えるんじゃないかな。

それなら、写真は「ぜん体」に入れば分かりやすくなるね。

【第5時】 めあて「かどの形やへんの長さに気をつけて、形をとくちょうをしらべよう。」

④ 動かす

算数科

正方形の特徴をまとめるために、角の形や辺の長さに着目して、長方形と正方形、その他の四角形に分類して動かすとともに、角の形や辺の数などを書き込んだ。

正方形の特徴をまとめるために、角の形や辺の長さに着目して、長方形と正方形、その他の四角形に分類して動かすとともに、角の形や辺の数などを書き込んだ。

正方形の特徴をまとめるために、角の形や辺の長さに着目して、長方形と正方形、その他の四角形に分類して動かすとともに、角の形や辺の数などを書き込んだ。



イトウとエトオは4つの角が直角だから、長方形だよ。

エトオは、4本の辺が同じ長さだから、正方形じゃないかな。

正方形の辺は4つとも同じ長さだったね。

【第10時】 めあて「ミニトマトのせい長のしかたをまとめよう。」

⑤ 並び替える

書き込む

⑥ 書き込む

生活科

自分が気付いたこと

はっぱがふえた

ふたは

成長する順序に写真を並び替える



共有して分かったこと

たね

ふたは

はっぱがふえた

ちっとはっぱがふえた



葉っぱが増えたよ。

葉っぱの形も変わったよな。

ミニトマトはちよつとずつ成長していったね。

成果と課題

- ICT機能を活用し、キーワードや図形、写真などを動かしたり、気付いたことや分かったことなどを書き込んだりしたことにより、一人一人が考えを整理して、表現することができた。
- 「きらきらタイム」を設定し、分かったことや大事なことを伝え合う活動を取り入れたことにより、一人一人が学んだことを整理して、実感することができた。
- ◇ICT機能を低学年から活用できるようにするために、段階的に指導していく必要性がある。
- ◇児童が学んだことを整理して実感し、それを次の学びにつなげていけるようにするために、ICTのより効果的な活用方法を模索するとともに、学んだことを伝え合う活動の更なる充実を図りたい。